

L'aile d'Howl

【ライル・ドウル：ホウルの翼(伝説)】

2012年4月号



花巻開催最後の全国高校選抜大会も無事終了！関係者の皆様、大変お疲れ様でした☆

**祝・不来方高校男子
全国高校選抜大会準優勝☆**



1

岩手県ハンドボールの父の思いを受け継いで

全国高校選抜大会を数日後に控えた3月20日、花巻市総合体育館にて第1回箱崎カップ岩手県小学生ハンドボール大会が開催されました。この大会は、今から約60年前に岩手県にハンドボールの種をまいた故・箱崎敬吉先生の冠をいただき、これまで岩手県少年団交流大会として行ってきた大会を、新たに箱崎カップとして開催する運びになったものです。



今回は岩手県内の3少年団に加え、十和田ジュニア(青森)と大崎ハンスポ少(宮城)を交流試合に招待し、総合体育館アネックスの新しいフロアも使ってたくさんの試合が行われました。特に今回は、各部門における総当りリーグ戦だったため、いつもより多く試合ができ、子どもたちも非常に喜んでいました。

また、これらの少年団から巣立ったヤングレフェリーたちが大会に花を添えてくれました。閉会式では、箱崎玲子夫人より直接優勝カップが子どもたちに手渡され、まさに岩手県ハンドボールの父・箱崎先生の熱い思いが未来へと受け継がれるかのようでした。



2

全国高校選抜大会～ 不来方高男子が堂々の準優勝!!



ついに最終決戦！去る3月24日～30日、花巻市内の各体育館にて、第35回全国高校選抜大会が開催されました。3年連続で開催する予定であったこの大会ですが、昨年3月に発生した東日本大震災の影響で前回大会が中止となり、実質2回目となった今回。開会式のオープニングには津波被災した陸前高田市から氷上太鼓さんをご招待し、開催地代表の盛岡一高、盛岡南高校両主将による力強い選手宣誓により、まさに復興に向けて大きな元気と感動を与える高校生たちのステージが幕を開けました。それでは岩手県勢の活躍をお伝えしましょう！

<盛岡一高>緒戦の相手は、なんと昨夏花巻でインターハイ初優勝を飾った宮崎県の小林秀峰高校。互いに小柄ながらもスピードある展開が持ち味の両校は、リトルハンド出身の藤原竜郎選手の速攻、高瀬陸選手(ともに松園中)の左腕ミドルシュートなどで得点を重ね、前半一時リードする見事な戦いぶりを見せます。もしやと期待が高まる後半、体力と選手層で上回る小林秀峰が王者の意地を見せ、最後は33-20と突き放されました。緒戦突破はなりませんでした。インターハイ王者に堂々と勝負を挑んだ開催地代表校に対し、会場が大きな拍手で包まれました。

＜盛岡南高＞九州ブロック代表の筑紫女学園との緒戦は、序盤から一進一退の攻防が続き、一時リードを奪う好展開。しかし、中盤で足が止まり、得点が入らないエアポケットに。なんとか必死の攻撃を展開しますが、開いた点差を詰めることができずに 16-24 でゲームセット。工藤里花監督に勝利をプレゼントしたかった選手たちから大粒の涙がこぼれました。

＜不来方高・女子＞緒戦の明石高校戦は緊張から自分たちのゲームペースが掴めず、接戦となるも後半に逆転し、24-22 でまずは第一関門クリア。続く3回戦では、昨夏のインターハイで3位に輝いた東京代表の佼成学園女子。初戦の反省を活かし、エースの藤原千寛選手、ポストの佐々木明日香選手(ともに花巻クラブジュニア→花巻中)が積極的な攻撃を展開し、前半を1点リードで折り返すと後半もリードを保ち、24-20 で勝利。ついに全国ベスト8に進出します。翌日の準々決勝では、こちらも全国大会の常連校・小松市立高校と対戦。



勝って全国ベスト4に駒を進めたい不来方高校は前半一進一退の攻防を繰り返して、1点ビハインドで後半に突入します。固いDFを敷く小松市立に対し必死に攻め続けますが、後半終盤に入り左45度の遠藤美南選手(矢巾フェニックス→矢巾北中)がシュート時に倒れ負傷退場。残り数秒、入れば同点、延長という場面でのサイドシュートは惜しくもバーに阻まれ、26-25で残念ながらベスト4進出となりませんでした。かつて先輩たちが築いた全国ベスト8の記録に並ぶ好成績に自信を持ち、来年のインターハイではさらに上を目指して頑張してほしいものです。

＜不来方高・男子＞氷見高校を34-30で破り初陣を勝利で飾ると、続く熊本国府戦では、長身ポストとエースを活かした攻撃に苦しめられますが、32-31の1点差で勝利を収め、準々決勝へと駒を進めます。そしてついに迎えたライバル、沖縄県の興南高校との対決！昨夏のインターハイでは初戦で苦杯をなめた相手に対し、地元でのリベンジを果たすべく、不来方高は積極的なOFを展開し

ます。一時は大幅にリードされるものの、後半27分、中村恵吾主将の速攻で逆転に成功！最後は中花仁選手(花巻クラブジュニア→花巻北中)の3連取で勝負を決め、ベスト4に名乗りを上げます。迎えた準決勝、インターハイ準優勝の強豪・藤代紫水との勝負。高いDFから速攻を展開し、さらには齊藤凌選手(花巻クラブジュニア→花巻北中)のロングシュートで突き放し、36-26で念願の決勝進出を果たします！大歓声の中迎えた決勝の相手は、3年ぶりの優勝を目指す北陸高校。好調な滑り出しで不来方高は前半22分、18-9と大きくリード。しかしここで退場者を2人出してしまい、リズムを崩してしまいます。この間北陸高は一気にたたみかけ、後半4分ついに試合を振り出しに戻します。その後はまさに一進一退の攻防となり、35-35の同点でついにラスト1分を迎えます。北陸のサイドシュートが決まった直後、中花選手のリスタートからの得点ですぐさま同点。会場の緊張が最高潮に達したその瞬間、残り3秒で北陸高のポストにパスが通り・・・つかみかけた全国優勝がすり抜けていきました。1点差での準優勝に、選手そして岩手のハンドボールを愛する全ての人が悔しさを覚えつつも、確かな手応えを感じていました。岩手のハンドボールの力を。



準優勝おめでとう！優秀選手おめでとう！

閉会式では、中花仁選手、そして安倍竜之介選手(リトルハンド→松園中)が優秀選手に選ばれました。指導者として、岩手県、そして花巻市から全国の頂点を争うレベルの選手が育ってきたこと、ハンドボールに関わる者として非常に嬉しく思います。さらなる飛躍を期待しつつ、大会運営に携わった関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。3年で5回の全国大会を運営した力も、ハンドボール王国いわての大いなる証です！

L'aile d'Howl (ライル・ドウル)
2012年4月号
2010年4月25日 発行
発行:花巻市ハンドボール協会
Special thanks to: リトルハンドさん、
岩手ハンドボール応援ページさん